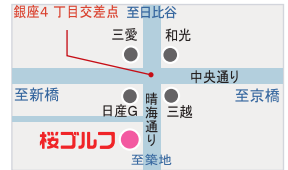


株式会社 桜ゴルフ
東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
(銀座4丁目交差点より1分)

【お問い合わせは】
0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



10月に入り、ようやく秋の風情が感じられる頃となりました。皆様お元気でいらつしやいますか。

9月の会員権相場はこれだけ暑い夏でしたが、月比で+0.6%、年初比では+5.5%へと上昇しました。本来、7〜9月は夏枯れのため市場もひと休みするところですが、今年は豪雨や酷暑に見舞われながらも注文は活発で安定した市場に支えられました。

その要因はコロナ禍以降、国民の健康志向が高まる中、ゴルフ人口の拡大とともに入会相談が大幅に増えたことです。①のグラフに示した通り、2020年以降の注文の伸びは目を見

ゴルフブーム下で
順調な夏相場続く



草分けとしての使命をー
佐川 八重子

25年夏相場の価格帯別相場推移 (関東圏)

価格帯	1~6月	夏相場 (7~9月)				年初比
		7月	8月	9月	合計	
1000万円以上	5.7	0.2	0.8	0.5	1.3	7.1
500万円以上	2.2	0.7	0.2	0.4	1.3	3.5
300万円以上	1.0	▲0.5	▲0.5	0.4	▲0.5	0.5
150万円以上	1.7	0.4	0.7	1.7	2.7	4.4
70万円以上	2.3	0.5	0.8	0.2	1.6	3.9
70万円未満	7.3	0.2	0.3	1.5	1.9	9.4
平均	4.1	0.2	0.6	0.6	1.3	5.5

(名変諸費用含む価格帯、単位：%)

依然として重い
名変諸費用の負担

張るようです。さて、9月の動きをみますと、価格帯では150〜300万円未満が+1.7%と健闘し、高麗川・金乃台・清川などの優良銘柄が拾われています。更にゴルフ場の約7割(378コース)を占める150万円以下は+0.9%で、この価格帯の伸びが注目されています。お手頃で買えるコースとはいえ様々な選択肢があり、新しいゴルフアーの参入は市場を大きく支えていくものと思われま

また、ワーケーションや長いバカンスからリゾートコースの買いが活発です。大浅間・河口湖、富士レイクなどの注文が多く、古いリゾートコースにも物色の手が伸びています。

〜ゴルフブーム下の夏相場のポイント〜

- 9月は猛暑の中で+0.6%、年初比5.5%値上がり
- 例年夏枯れで市場が緩むところ、活発な買い需要
- ゴルフ人気で入会相談増加、活発な市場の要因に
- 高麗川・金乃台など総額150〜300万円未満が牽引
- 猛暑で高原リゾートコースが注目大浅間など人気

〜重い名変諸費用負担のポイント〜

- 入会総額に対し名変諸費用は平均約4割を占める
- 諸費用はバブル期から据え置きコースもある
- 高い「入会預託金」が重荷、入会の大きな障壁に
- 預託金を下げて人気が高まり相場が上昇した例も
- 諸費用軽減で、より入会しやすい環境づくりが急務

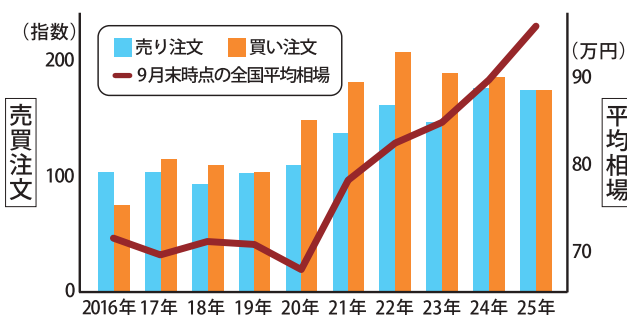
今回は入会に伴う名変諸費用について考えてみましょう。

会員になるには、会員権のほか、高い名変諸費用を支払います。かつて入会総額の10〜20%だった諸費用は、現在では約40%を占めています(グラフ②)。

会員権相場はバブル期から大きく下落しましたが、諸費用は据え置かれたままのコースもあります。そして、高額コースに多い「入会預託金」が更なる重荷となり、入会の障壁になっているのではないのでしょうか。

入会預託金を下げたことで入会者が増え相場が上昇した例もあり、諸費用は軽減できる余地があると考えます。6年目を迎えたゴルフブーム、景気の良い今こそ対策し、入会しやすい環境づくりが急務であると考えます。

① 過去10年の7~9月の売買注文と平均相場推移



② 会員権総額に占める入会諸費用比率(関東圏)

